



たらぎ議会だより

No.86

平成24年8月9日
熊本県多良木町議会発行



た
ら
ぎ
だ
よ
り

6月 定例議会

誘致企業の事業拡大 P 2
(多良木プレカット協同組合))
黒肥地小学校屋内運動場増額補正 P 3
専門職の任期付職員採用！ P 5
一般質問 9議員が町政を問う！ P 6



費許明越繰

※23年度から24年度へ繰り越される予算

◎ 町道小田原庚申線整備事業	7千321万円
◎ 町道湯原線整備事業	4千950万円
◎ 集落道路整備事業	500万円
◎ 森林環境保全整備事業	2千713万円
◎ 緑の産業再生プロジェクト促進事業	1億9千409万円
◎ 施設開設準備経費助成特別対策事業	540万円
◎ 介護基盤緊急特別対策事業	3千750万円
◎ 多良木学園改築整備事業	599万円
◎ 町勢要覧作成事業	60万円

◎ 町道赤松線整備事業	1千878万円
◎ 夜間活動資器材購入事業	279万円
◎ 林道施設災害復旧事業	1千622万円
【下水道特別会計】	
◎ 多良木町流域関連公共下水道事業	7千443万円
【介護保険特別会計】	
◎ 電算システム改修事業	315万円

【一般会計】

ホット
ニュース

“多良木プレ

★南九州地域木材流通多良木町団地(株)フェアし「多良木プレカット協同組合」を設立。

平成24年度第3回定例会は、6月15日費報告、一般会計、特別会計2件、条例等6が提案され、慎重に審議した結果、原案どお一般質問には9名が登壇し、町長の考えを

一般会計24年度補正予算1億8

主な歳出

- ★緑の産業再生プロジェクト促進事業補助 (多良木プレカット協同組合)
- ★多良木町中小企業振興補助 …………… (多良木プレカット協同組合)
- ★えびすふれあい祭り特設ステージ設置委
- ★堆肥センター修繕料(屋根・外壁) ……
- ★農業体質強化基盤整備促進事業農業用施
- ★映画製作出資金 ……………
- ★消防団拠点施設整備工事 (設計委託料含
- ★黒肥地小学校屋内運動場改築工事 ……

副町長選任

同氏が平成24年6月30日をもって任期満了となるため再任されました。

平成21年に就任し、今回で2期目になります。



〈再任〉
久保田 善典 氏

6月議会

カッ工場”操業開始！！

ウッド新産内に、緑の産業再生プロジェクト促進事業を利用
総事業費3億5千8百万円！

から22日までの8日間開催され、専決処分5件、繰越明許
件、同文議決2件、補正予算3件、推薦1件、選任同意1件
り可決・同意しました。
質しました。

53万円追加し、総額62億7,523万円とする。

..... 7,056万円

..... 450万円

託料 127万円

..... 551万円

設改良工事 750万円

..... 200万円

む) 1,100万円

..... 4,403万円



多良木プレカット協同組合



黒肥地小学校屋内運動場改築工事現場

黒肥地小学校屋内運動場(体育館) 改築工事に四千四百万円を追加補正！！

特別会計

- ◆下水道事業 5,539万円追加
- * 準幹線実施測量設計業務委託 1,976万円
- * 準幹線築造工事 3,144万円
- ◆介護保険 126万円追加

条例改正の主なもの

☆専決処分第3号 多良木町税条例の一部を改正する条例

解説

税の申告の場合、公的年金の支払い報告書の中に、寡婦・寡夫の記載欄が設けられたため、これらについて、あらためて申告する必要がなくなったというものです。また、固定資産の評価替に伴う課税の特例（減免の期間）が平成24年度から平成26年度まで、3年間延長されました。詳細は税務課へお尋ねください。

☆議案第35号 多良木町印鑑条例の一部を改正する条例を定めることについて

解説

平成24年7月9日から「外国人登録法」が廃止され、外国人住民にも日本人と同じく「住民基本台帳法」が適用になるため印鑑条例にあった「外国人登録法」に基づいていたものが改正されました。6月20日現在の多良木町在住の外国人の方々の国籍は、フィリピン13名・中国4名・韓国2名・米国2名・インド1名・ネパール1名、合計23名の方々です。詳細は町民福祉課へお尋ねください。

☆議案第36号 多良木町指定管理者による公の施設の管理に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

解説

4月から交流館石倉、えびすの湯、ブルトレインなどを指定管理者が管理することになりましたが、これと同様に、指定管理者に管理を行わせることができる公の施設の中に多良木町立多良木学園を加えるというものです。



多良木学園正面玄関

☆議案第37号 多良木町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例を定めることについて

解説

専門的な知識と経験を持つ人材を任期付で一定期間採用することにより、より効率的な業務の遂行を図ることを目的とした条例です。多良木町には現在192橋がありますが、その多くが老朽化している現状です。今回、橋梁の専門家を環境整備課任期付職員として配属します。



架け替えを待つ橋

☆議案第43号 町長等の給与に関する条例及び教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

解説

黒肥地小学校体育館新築工事（工事費は約2億円）の大幅な設計変更が必要（4千4百万円の追加増額）になった責任をとり、町長の給与749,000円、副町長の給与597,000円、教育長の給与527,000円の、それぞれ10%を7月分から9月分までにかぎり減額するというものです。

< 6月議会に提出された請願・陳情・要望一覧 >

請願書 消費税率引上げ等に断固反対する意見書を求める請願

提出者 熊本県建築労働組合人吉球磨支部 上球磨分会

矢立正勝 他83名 紹介議員 久保田悦子

付託 厚生文教常任委員会により継続審議されることになりました。

要望書 建築事業に関する設計・監理業務を人吉球磨建築設計事務所協会の会員に委託する要望について

提出者 人吉球磨建設設計事務所協会 会長 本田利廣

付託 総務常任委員会により継続審議されることになりました。

陳情書 学校図書館の蔵書整備・充実に関する陳情書

提出者 熊本県書店商業組合 理事長 長崎晴作

付託 厚生文教常任委員会により継続審議されることになりました。

陳情書 久米川内川流域の災害復旧工事及び改修工事についての陳情書

提出者 多良木町久米一区 区長 北本勝徳 他188名

付託 経済建設常任委員会で審議のうえ環境整備課及び提出者と共に現地を視察、協議の結果採択することになりました。



久米川内川被災現場

要望書 女性農業委員の登用に関する要望書

提出者 人吉球磨地域女性農業委員ネットワーク 会長 源嶋たまみ

付託 経済建設常任委員会により継続審議されることになりました。

議 決 結 果

議案番号	件 名	議決年月日	議決結果
承認第1号	専決処分の報告及び承認について 多良木町税条例の一部を改正する条例	平成24年6月15日	原案可決
承認第2号	専決処分の報告及び承認について 多良木町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	〃	原案可決
承認第3号	専決処分の報告及び承認について 平成23年度多良木町一般会計補正予算(第6号)	〃	原案可決
承認第4号	専決処分の報告及び承認について 平成23年度多良木町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	〃	原案可決
承認第5号	専決処分の報告及び承認について 平成23年度久米財産区特別会計補正予算(第3号)	〃	原案可決
報告第1号	平成23年度多良木町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	〃	
報告第2号	平成23年度多良木町下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	〃	
報告第3号	平成23年度多良木町介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	〃	
議案第32号	立木処分について	平成24年6月20日	原案可決
議案第33号	町道の路線廃止について	〃	原案可決
議案第34号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	〃	原案可決
議案第35号	多良木町印鑑条例の一部を改正する条例を定めることについて	〃	原案可決
議案第36号	多良木町指定管理者による公の施設の管理に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	〃	原案可決
議案第37号	多良木町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例を定めることについて	〃	原案可決
議案第38号	熊本県市町村総合組合規約の一部変更について	〃	原案可決
議案第39号	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	〃	原案可決
議案第40号	平成24年度多良木町一般会計補正予算(第1号)	〃	原案可決
議案第41号	平成24年度多良木町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	〃	原案可決
議案第42号	平成24年度多良木町介護保険特別会計補正予算(第1号)	〃	原案可決
	多良木町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について	平成24年6月22日	当 選
同意第2号	副町長の選任について	〃	原案同意
議案第43号	町長等の給与及び旅費に関する条例及び教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	〃	原案可決
平成24年陳情第3号	久米川内川流域の災害復旧工事及び改修工事についての陳情書	〃	原案可決
	多良木町議会議員の派遣について	〃	可 決
	委員会の閉会中の継続審査申出について	〃	可 決
	常任委員会の閉会中の所管事務調査申出について	〃	可 決
	議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査申出について	〃	可 決

副町長
選任

反対討論 高橋 裕子 議員

この反対は個人を否定するものではありません。ましてや、再任反対イコール町長否定ではありません。現副町長は町長の盾として、大きな功績を残されていると思います。しかし、地方分権が進む中、町村合併しないことを選択したその流れの中で、町長が球磨郡の長というポジションに立たれたこの機会には、町の盾となる人材が必要であると考えます。県の人材派遣制度を利用するなど、ぜひ町政を違う角度から評価し、改革へ導ける人材の登用を決断し、球磨郡の核としての多良木町の確立をして頂きたいという理由を持って、副町長の再任に反対いたします。

■無記名投票の結果 …… 賛成7名・反対4名・無効1名 計12名(議長除く)

松崎 農林課長 上球

磨農業振興協議会による三ヶ町村の協定賃金になっており難しいのでは。理由として堆肥散布を請け負う農家が

自分の仕事を休んで行なう為、それ相応の賃金の支払が必要。協定

料金は機械の減価償却やオペレーターの賃金を換算し算定、従って

料金の引き下げは厳しい。今後農業委員会

協定賃金策定の際、話題として提出します。

Q 保育所運営について

A まちづくり委員会の中で検討

質問 町立保育所の職員構成をみると、正職員と派遣職員とのアンバランスが見受けられる。検討の余地がある

と思われるが、今後この状態は続くのか。また、保育時間を午後7時まで、希望者に延長保育は考えられないか。

員の構成については、庁舎内検討委員会を設置してまちづくり委員会の中で検討して行きます。延長保育については、公立保育所の考えとして一日中園児が

保育所に居るより、早く家に帰りたい。保護者の迎えを待っている姿が有りますが延長保育については、希望者が多ければ今後検討します。



西 子ども対策課長

第三保育所で、現在76%が派遣職員です。職

十数回シテ翌三十一年一月 町議会ニ於テ

黒肥地財産区ト共ニ久米財産区ヲ設定サレ之ニ 必要ノ条例モ制定サレタリ 最終ノ特別委員会ニ於テハ折角地区住民ノ為ニ残

スニハ 会議録ヤ公文書ノ如キハ 汚損、紛失、焼損ノ虞ナシトセズ 子孫ニ迄 周知セシムルニハ 町長名ヲ以ツテ 住民ノ見易キ山ニ碑文ヲ刻シ建テル決メテアルカラ 茲

昭和三十五年一月 久米財産区管理者 恒松 伊八

以上の事も含め、町長は久米財産区管理者として、久米財産区の今後のあり方について、



中村正徳議員

どの様な見解をお持ちか伺いたい。

町長 先程、議員ご指摘のとおり、財産区の経営は、材価の低迷でたいへん難しい経営状況となっている。現在、管理委員会の中で、選挙制度であったところを、選挙にかかる諸経費を節約するために推薦制に変更したり、地区の行事に支出していた補助金を削っていた

関する様々な支出を抑える努力をしております。このように存続に向けたあらゆる手段を講じていただいているところです。今後、財産区の当初の目的については大事にしながら受け継いでいきたいと思っております。



久米財産区石碑

Q 通学路の安全対策は

A 児童生徒の安全対策には万全を

質問 登下校中の通学路での交通事故が多発しておりますが、本町では、通学路に対する安全対策はどの様にな

されているか伺いたい。

町長 おっしゃるとおり、児童生徒の安全対策はたいへん重要かつ喫緊の課題であると思

う。今回、担当部局において通学路の踏査を

行なうことになっているので、その中で危険箇所を特定し、信号機や横断歩道などが必要であれば関係機関と協議をしながら、町や教育委員会から警察署へ要望するなど、通学路の安全対策については万全を期したいと考えている。

9議員が町政を問う!

〔全ての質問事項〕

1 皆越秋廣 議員 (6ページ)

- ① 農業の振興について
- ② 特産品開発事業について
- ③ 地域振興について
- ④ 町立保育所の運営について
- ⑤ 多良木学園の運営について
- ⑥ 職員の適正管理について

2 中村正徳 議員 (6ページ)

- ① 農林業振興策について
- ② 交通事故防止対策について
- ③ 災害対策について
- ④ 子育て支援について
- ⑤ 道路整備計画について

3 高橋裕子 議員 (8ページ)

- ① 町づくりの具体的対策について

4 吉瀬浩一郎 議員 (8ページ)

- ① 企業誘致について
- ② 下水道事業について
- ③ 火葬場の移転について

5 魚住憲一 議員 (9ページ)

- ① 行政座談会について
- ② 合併処理浄化槽について
- ③ 里の城大橋からの景観について
- ④ 地籍調査について
- ⑤ 木質バイオマスについて

6 村山昇 議員 (10ページ)

- ① まちづくりで人材の育成と地域力をつくることについて
- ② 農業振興について

7 瀬崎哲弘 議員 (10ページ)

- ① シルバー人材センターの業務と危機管理について

8 久保田悦子 議員 (10ページ)

- ① 消防の広域化問題について
- ② 子どもの医療費無料化について
- ③ 生活保護について
- ④ 水道料金の滞納者について
- ⑤ 川辺川問題について

9 坂口幸法 議員 (12ページ)

- ① 発展と交流を支える交通体系の整備について
- ② 木質バイオマス利用事業化について
- ③ 電力需給対策について
- ④ 消防城南ブロック広域化について



皆越秋廣議員

質問 地力の基となる堆肥は、田に10a当り2t必要という事だが、

Q 堆肥散布料金の引き下げを
A 協定賃金になっており難しい

労力の面からも機械散布が必要となる。堆肥を田に散布したい農家は多いと聞くので、上

球磨地域農業振興協議会で示されている堆肥散布料金を引き下げる事は出来ないか。

Q 久米財産区の今後について
A 当初の目的を受け継いでいきたい

質問 町長もご存知だと思いますが、この様な石碑が建っておりません。「財産区設定の碑 施業面積五百三十余町歩」

球磨郡旧久米村八千七百十余町ノ 公有林ヲ有シ行政費ノ約三割ハ山林収入カラ充当サレテキタガ 昭和三十年四月 多良木・黒肥地

ト 町村合併スル際ニ久米村議會ニ於テハ施行面積ノ約1/3ヲ 財産区トシテ地域住民ニ残ス同文議決シタリ 新多良木町議會ハ 合併決議書ニ基キテ 多良木、黒肥地、久米ノ選挙区ヨリ 各三名ノ議員ヲ特別委員ニ選任シテ 委員会等

魚住憲一議員



質問 里の城大橋から見た多良木町の景観はすばらしいものです。フルティーロードか、県道を通って、里の城大橋の所に来ると、さすが多良木町というイ

ンパクトがほしいものです。今後、歩道側に植栽の予定はないか。
松本 企画観光課長 歩道側の邪魔にならない所に、桜を植栽してみてもどうかという、提案もありました。植栽の場合は、プランターのような管理が必要ありません、これについては検討してみたいと思います。植栽を檢



里の城大橋付近からの景観

討するうえで、道路沿いの地権者の方や耕作者の方の了承が必要です。特に影になるとか、葉がたくさん落ちるようなものは難しいという気がしているところですよ。

Q 里の城大橋からの景観について
A 検討してみたい

22年度から3年間の緊急の事業として実施。平成23年度末の実績として補助金交付額の8倍の総工事費という効果が出ています。健康保険課の取り組みである介護予防拠点施設整備事業では平成23年度分までで21カ所の公民館が整備され、1億8千万円以上の事業効果があつた。商工会のプレミアム商品券の15%のプレミアム分450万円を補助しているが一日二日で完売という好評である。産業の向上については、第5次総合開発計画の基本計画として掲載され、実施計画の中で行なわれている。

松崎 農林課長 農業関係では、農家の負担軽減ということで9千6百万円の基金があり、現在59件の申し込みがあつている。機械・施設の導入などに役立つというと思われる。

吉瀬浩一郎議員



者に補助金や起債を探すよう指示が出されていないのでは。

Q 木質バイオマスについて
A 資源にするための方策を

町長 結論ありきというのではない。火葬場の統合を判断するのに、第一に広域行政組合に加入した時のいきさつ、第二に設備投資の問題、第三に毎年の管理運営費の問題、これらを総合的に考えた時に統合したほうが良い、という結論を出した。何か裏に約束事があるとか、私利私欲のためでは決していない。先程申ししたこと以外、そのほかには何ら特別な事情はない。

質問 多良木町には山林原野が約130平方キロメートルがあり、チップボイラー及びペレットボイラーについても地元材を活用することで雇用もできるのではないか。ペレットにしても外部からの購入ではなく、町内でできるような施設の考えはどうか。今後の計画はどのようなのか。

町長 設備・運搬搬入が、採算的に今のところ厳しいところです。問題点は先ほど言いました設備投資の金額と、運搬搬入です。確かに林地残材とか間伐材があるわけですよ。それを搬入するよりも置いてきた方が、お金がかからないということ、それを何らかの資源にするための方策を今後

松本 企画観光課長 考えたいと思います。再生可能エネルギーである木質バイオマスの利用については、電力不足による節電効果も期待できますので補助事業を利用して前向きに取り組めます。

Q 町づくりの具体策について

A いろんな形での連携を取りながら積極的にすすめていきたい

高橋裕子議員



質問 農業活性化対策

についての具体的考え、そして2期8年目どんな結果が出せたとお考えか、また6次産業の加工業の推進はどういう構想を持っての計画をお考えか。

町長 儲かる農業を目指すということだと思ふ。①人材育成 ②生産拡大 ③加工販売 この三つの点に力を入れながら農業の振興を図っていく必要があると思う。顕著な結果は出ていないと思うが、一歩ずつ着実に活性化に向けてはやっていると思つている。契約栽培の三島

柴胡等、生産者としても頑張っていたらいい。加工販売の充実を中心に、地産地消の部分と大きな消費地に販路を求めると、奨励品目を絞り込み、ニーズの高い農産物の年間を通してのサイクルを作っていくたい。

松崎 農林課長 6次

産業の中の販路については平成21年・平成22年に上球磨3カ町村でアンテナショップの調査をしたが、色々な問題が上がってきた。地域の物産館、熊本市内方面の物産館・スーパーなどもあるが、人吉・球磨が一つにまとまつての物産館を輸送経費のいらぬ地元、例えば高速道路周辺などに作れないかと思つている。球磨農業活性化協議会に於いても販路の検討をしている。町

では昨年農林商工連絡協議会を設立し、団体の横の連携に取り組んでいる。ふるさとクーポン便の復活、移動販売車等の検討をし、いろいろな課題について協議している。

質問 地元産業活性化

については、補助金や産業振興基金の貸付、中小企業振興補助金等の対策はなされているが、地元産業の育成等所得向上につながる具体的な対策についてはどうお考えか。総合開発計画は計画であつて、それを具体化する構想が大切であると思ふ。今までの実績と成果についても伺います。

松本 企画観光課長

商工業関係の補助金の一種として、住宅リフォーム補助事業を平成

Q 重すぎる下水道負担

A せめて他町村なみにすべき 工事終了地区もある補助金の増額はできない

質問

多良木町の下水道接続率が上中球磨で一番低いのは他町村と比較して、①分担金が高い、②接続工事の補助金が低い、③下水道料が高いなどが原因。一定の設問に従つて計算した場合、驚くべきことに、初期投資額が、あさぎり町より13万円高く、湯前町よりも26万円高い。町長は住民が不利益をこうむらないように、せめて他町村なみに助成制度を見直し住民の負担を軽減すべきではないか。

町長

下水道は平成27年度に完了する。接続率100%を目指して、どういう方法があるのか

今後考えていきたい。

議員も言われたように制度を変え、負担金を多くもらつたところは返すという方法だが、これについては既に接続が終了している世帯がある。返すとなると



初期投資が高額では下水道公共料

Q 火葬場統合の結論ありき

A 住民無視ではないか 統合は財政事情など総合的に判断した結果

質問

町長は火葬場の建設には補助金も出ないし起債（有利な条件で国からお金を借りること）も無い、といわれるが本当か。そんなことはない。総力をあげて探せば直接的な補

助金はなくとも該当する補助金はあるのでは。

これまでも町はそういう手法で補助金や起債を利用してはどうか。町長に火葬場を残す気がないから、結論ありきだから、担当

莫大な金額になる。そのあたり今後皆さんと議論し話し合つて、接続率の向上に努めていきたい。今後いろいろと検討していきたい。



瀬崎哲弘議員

久保田シルバー人材理事 先に本町での重篤な事故の発生を心よりお詫びします。今後、このような事故が起きない様、万全の対策を講じて、被害者の方には誠心誠意をもって対処します。



シルバー人材センター会員の作業風景

のが、傷害保険と総合賠償責任保険の二種類でそれぞれ最高額90万円です。

り、今回は会員同志での被害で今調査検討中です。今後のセンターとしての危機管理は、安全教育と仕事内容を吟味し危険性のない仕事の斡旋を原則とするよう徹底します。

町長 確かに無料化というのは本当にいいことだとは思いますが、財政的にひねり出すということをやっているかなければということですね。予算は全般的に考え、活性化に有効に使っていききたい。長期的なことも見ながら町の経営は行なうべきと思っ



久保田悦子議員

ている。子どもに重点性をという意見も分かるが、消費税が上がる、生活が厳しくなるということも十分考えられるので、何かの手当を、中学校までの医療費無料化だけではなく、来年度予算等立てる場合十分考えて対応していきたいと思っ

Q 川辺川ダムと利水について A 早期解決を思っている

質問

川辺川ダム中止

では、五木の再生に関する特別措置法の制定、ダム建設の入らない河川整備計画の策定が急がれる。また、川辺川利水では、現在アンケート調査を実施されていますが、その状況はどうなっているのか。どのような水の対策が考えられるのか。

松崎 農林課長 アンケートは、既設導水路

活用案が前に進まないというように、新たな水源を見つけるために、今、実施している。全体としては114名で、実質土地改良法の3条資格者はその中の88名が対象となる。現在6割の回収の中で約30%の方は水がほ

る。

町長 川辺川ダムについては河川整備計画が早く整備され、下流域の人たちの安全が守れるという状況に早くしてほしいと、協力的にやっていきたいと思う。早期に解決したいと思っ

村山 昇議員



Q まちづくりで人材の育成と地域力をつくることについて

A 人材育成と地域活性化には積極的に取り組む

質問 まちづくり活性化のため、職員の研修視察をし、アイデアの募集をする考えは。また、地域活性化のため、やる気のある人を育てるリーダー養成講座の開設、国際化時代に備え、青少年を海外に派遣する考えは。なお、自らが研修をしたいという意欲のある者に対して、資金の助成制度を創設する考えはないか。

町長 職員の研修については、目標を持っていろんな経験をするために積極的に実施していこうと思う。

田中 総務課長 町の

人材育成基本方針、また職員研修の基本方針という計画を策定しており、それに基づいて職務内容、必要性等、総合的な研修を実施している。

町長 アイデア等は募集していないが、正月か年度初めに、職員より今年の目標を立てて、町長宛てに提出してもらっている。地域の活性化に、人材育成は本当に大事だと思えますし、リーダーの養成講座の開講も含めて検討していく。国際化が叫ばれて久しくなる。今回、中学校で英検・英語の勉強に力をいれ、

海外でも通訳なしで話せることが大事で研修資金等を含めて今後前向きに考えていく。

Q 農業振興について
A 生産基盤の構築が大事である

海外でも通訳なしで話せることが大事で研修資金等を含めて今後前向きに考えていく。

資金等を含めて今後前向きに考えていく。

質問 農産物に付加価値をつけ、農業所得向上のため、販路の拡大及び加工品の開発は。専門農家の中枢を担う女性に海外研修の機会を与える考えは。農家の高齢化の防止、遊休農地化の未然防止、定住人口の増加を狙い、帰農・就農を考えている人を対象に農業塾を開講する考えはないか。

町長 農産物に付加価値をつけ、農業所得向上のため、販路の拡大及び加工品の開発は。専門農家の中枢を担う女性に海外研修の機会を与える考えは。農家の高齢化の防止、遊休農地化の未然防止、定住人口の増加を狙い、帰農・就農を考えている人を対象に農業塾を開講する考えはないか。

町長 一次産業の農林

業は本町にとり立地条件的に一番優れている。食糧危機に向かって生産基盤の構築が大事であり、加工場等を設置し、加工品等を消費地に栄養価を落とさず安全・安心な農産物を届けていくよう努力する。

松崎 農林課長 家族労働ということで女性の活躍は経営面でも非常に大切なものであり、女性農業者の海外研修

は確かに重要な部分を担うと思う。町では農業振興活性化支援基金という資金を利用して研修することは可能であり、農業の経営あるいは地域の活動に役立っていただきたい。農業塾等については、国、県の方でも実施しているが、本町においては昨年からの農業アドバイザーを雇用し各農家を巡回し指導している。就農したい方にも指導する体制であり、販売促進員の方もおられ、農産物の販売指導体制もできるので、アドバイザーで十分対応できると思う。

Q シルバー人材センターの業務と危機管理について
A 危険性の無い、仕事と内容を吟味

質問 就業する会員と発注者の関係は？また町との関わりは？4月2日に起こった就業中

の事故について、シルバーが行なう業務から逸脱した仕事上の事故に対する対応と反省・

危機管理の見直しは、また事故の補償内容や責任範囲と今後の運営に対する考え方は。

危機管理の見直しは、また事故の補償内容や責任範囲と今後の運営に対する考え方は。

Q 中学校三年生までの医療費無料化は
A 全体の年齢構成を考えて対応したい

質問 中学三年生までの医療費無料化は水上村・錦町・山江村で実施され、相良村も十月実施予定です。日本の

子どもの貧困率は13.7%、一人親家庭では六割が貧困状態です。子どもの権利の中核は「成長発達権」です。

子どもを無くすためにも、中学三年までの無料化を実施してください。

子どもを無くすためにも、中学三年までの無料化を実施してください。

子どもを無くすためにも、中学三年までの無料化を実施してください。

子どもを無くすためにも、中学三年までの無料化を実施してください。

り小国町社会福祉サポートセンター悠愛として事業が引き継がれる。
◎指定管理者制度移行について

運営が公営から民間へという時代の流れでの決定がなされ、地域の実情を熟知し、福祉に関する専門的なノウハウを有する団体への事業の移譲により、よりよいサービスの提供が可能となり、また併せてサポートセンター第一悠愛の施設設備によって、より一層サービスの提供に適した環境が整備され福祉サービスの更なる充実が期待出来るようになった。

学園の取り組みについては、新たな福祉ニーズの掘り起こしと柔軟な施設運営が可能となり、施設入所支援、共同生活住居14箇所、地域内活動拠点の開設、就労支援など取り組み、サービスの量・質ともに向上し、知的障

がい者のみでなく、精神障がい者、発達障がい児者、そして身体障がい者まで幅広く支援できる施設へと移行されている。指定管理者制度に移行されて、職員の責任ある意識の改革、人件費の減額、地域での職員採用など、町立で運営されていたときと比べて



知的障がい施設サポートセンター第一悠愛

先進地域の生涯学習施設や埋蔵文化財センター状況を学ぶ

▼研修地
 ①鹿児島県立埋蔵文化財センター
 ②霧島市隼人町 生涯学習センター
 ③えびの市 図書館並びに歴史資料館

▼平成24年6月1日
 先進地に向き、本町での文化に関する施策に役立てるための知識習得を目的とし研修を行います。鹿児島県立埋蔵文化財センターでは、遺物整理場、出土品の管理状況、写真撮影場などを視察し、今後の黒肥地・石倉改修のヒントを得ることができました。えびの市・隼人町では、文化ホールや生涯学習・図書館の活用を学習し、有意義な研修でした。

いけば運営自体がスムーズに行えるようになったとのこと。

議会全員協議会

【協議事項】

- 平成24年4月26日（木）
 - (一) 黒肥地小学校屋内運動場改築について
 - (二) 映画『あしやんの子守唄』について
- 平成24年6月15日（金）
 - (一) 上の原団地（特定賃貸公共住宅）の譲渡問題について
 - (二) 多良木町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例について
 - (三) 城南ブロック消防広域化について（経過報告）
 - (四) 節電対策について

のうち約3割が球磨郡内に、県内まで含めると実に5割の他出子がい内に居住していることが明らかとなった。球磨郡内に居住する子ども達を頼りにしながら、槻木の人びとは生活を送っている状況にあることが特徴です。

槻木には今三つの選択肢が残されている。第1は、「老衰型集落モデル」である。第2は、「集落の全面移転モデル」である。



残るは第3の道「集落存続モデル」しかない。という提言がありました。

Q 町道槻木皆越線の

県道昇格を

A 機会あるごとに要望

坂口幸法議員



質問 ゆとりのある快適な道路環境の実現と、地域産業の発展や広域的な交流の促進並びに緊急道路や防災面にお

いても、総合的な道路整備は必要不可欠である。そこで、県道中河間多良木線の槻木トンネル早期着工の要望はもちろんのこと、町道槻木皆越線を県道へ昇格できないものか。

久保 環境整備課長

この槻木皆越線においては資源の開発、災害

時の迂回路、また小林市などとの広域的な観光振興など密接な関係がある生活地域の総合的な整備促進のために、必要な路線であると考えております。

町長 槻木皆越線は確かに県道中河間多良木線の迂回路として利用しており、大変重要な路線だと認識しています。県道昇格のために

は様々な条件があると思うが、当然、機会あるごとに要望していき

ることに要望していき

Q 離脱も含め消防城南ブロック

広域化の検討を

A 議論の集約をしながら判断したい

質問 県消防広域化推進計画の中央ブロック協議会で宇城広域連合が「財政上のメリットがない」等として、広域化の協議からの離脱を表明し上益城消防組合に続く離脱となり、

県央4消防本部組合の

統合による広域化は事実上、破綻した。このことを受けて現在の状況と離脱も含め検討すべきでは。

町長 まだ協議中であるので表明的な発言はしていないが、いろんな角度から意見が出て



上球磨消防署

いるのは事実です。最終的には4人の正副組合長、そしてまた上球磨消防組合の議会等々の順序を踏みながら議論の集約をしなければならぬと思っています。

槻木の夢ビジョンづくり事業について

中村委員長・久保田副委員長・瀬崎委員・村山委員・皆越委員

多良木学園……将来に民間運営（指定管理者）も視野に入れて

▼研修地

阿蘇郡小国町「知的障がい施設サポート

センター第一悠愛」

▼平成24年3月26日

◎施設の概要

障がい児施設小国学園として昭和42年に創設され、平成23年4月よ

調査は、熊本県の「地域づくり『夢チャレンジ』推進事業」として、

「槻木の夢ビジョンづくり事業」のなかで槻木地区在住の人々を対象に実施されました。その中で、熊本大学

文学部総合人間学科地域社会学研究室教授徳野貞雄先生より調査で

明らかとなった、槻木集落の三大特徴として、一つ目は、槻木集落には40代以下の人がおらず、「若い世代」がいな

い人口構成を有している。

二つ目は、それでも槻木に暮らす人びとの9割は「住み続けたい」という意志を持っている。三つ目は、全他出子



ムラサキシキブ

議会委員会シリーズ ①

■ 常任委員会とは

任意設置とされ、委員会の設置及び委員会及び委員の数は、すべて条例で定めることになる。
議員は少なくとも一の常任委員となるものとし、一般選挙後の初議会において常任委員に選任される。

■ 常任委員会の主な権限

その部門に属する事務の調査及び議案、陳情等の審査とされている。
この調査は所管事務の調査と呼ばれ、固有の権限である。
議案等の審査については、町村議会の多くは本会議中心主義を採用しているため、議案等がすべて機械的に委員会へ付託されるのではなく、その必要があると思われる議案のみが、議決によって付託される扱いとなっている。
なお、予算その他重要議案については公聴会を開催して、利害関係者及び学識経験者の意見を聞くことができる。さらに、町村の事務に関する調査又は審査のために必要があると認めるときは、参考人に出席を求め、その意見を聞くことができる。関係の住民、有識者等の意見を直接聴いて調査や審査に万全を期するための制度である。

《以上、議員必携より抜粋》

(多良木町議会の常任委員会と属する部門)

- ◎総務常任委員会 4名 総務課、企画観光課、税務課、会計課
- ◎経済建設常任委員会 4名 農林課、環境整備課、農業委員会
- ◎厚生文教常任委員会 5名 教育振興課、健康・保険課、子ども対策課、町民福祉課

編集後記

▼うっとうしい梅雨も大雨続きで、「これまで経験したことのないような雨」豪雨でお亡くなりなられた方々また行方がわからない方々に衷心よりお悔やみとお見舞い申し上げます。町民の皆様も、もう雨はいいよと、思われているのでは？これからが夏本番となります。健康には十分注意をしましょう。ここで、十少十多の健康訓を紹介します。

(仁木謙三)

- * 食うことを少なくして 噛むことを多くせよ。
 - * 乗ることを少なくして 歩むことを多くせよ。
 - * 着ることを少なくして 浴びることを多くせよ。
 - * 悶めることを少なくして 働むことを多くせよ。
 - * 怠けることを少なくして 学ぶことを多くせよ。
 - * 語ることを少なくして 聞くことを多くせよ。
 - * 怒ることを少なくして 笑うことを多くせよ。
 - * 言うことを少なくして 行うことを多くせよ。
 - * 取ることを少なくして 与えることを多くせよ。
 - * 責めることを少なくして 誉めることを多くせよ。
- ▼今回の議会だより「こだま」より、町民皆様の多くの方々にご愛読いただけるように模様替えをいたしました。今後ともよろしくお願致します。(村山)

広報特別委員会構成

- ◎ 瀬崎 哲弘 魚住 憲一
- 坂口 幸法 村山 昇
- 吉瀬浩一郎 高橋 裕子